



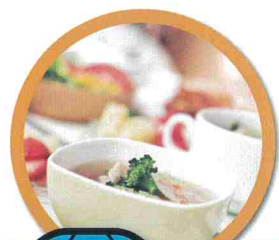
ママ、LPガスってなあに？
地震に強いってどういうこと？

ママのごはんは LPガス使用
LPガスについて学んじゃおう！

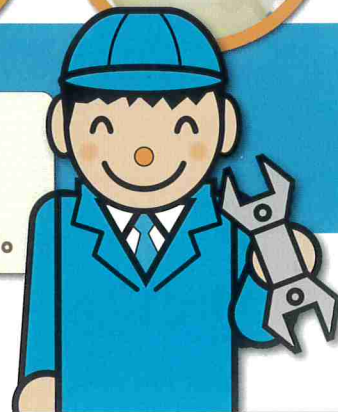
LPガスで安全・安心出来る暮らし



マイコンメーター
図解付き (中面に)



LPガスについて
災害に強い理由を
ママも一緒に学ぼう。



災害に強い理由、その前に・・・

LPガスってどんなガス？

LPガスとは「Liquefied Petroleum Gas」の略で、日本語で液化石油ガス
通常プロパンガスと言われています。容器（ボンベ）には、液体の状態で貯蔵され、
使う時に気体（ガス）になります。

液体の状態だと、気体の1/250の体積になるため、
効率的に貯蔵・配送することができます。

一般家庭で使われる50kg容器には、
約2ヶ月分（4人家族の場合）のLPガスが入っています。

あなたの家もLPガスかも

全国約5,200万世帯のうち
約半数にあたる2,530万世帯に
供給されています。
神奈川県内では約120万世帯で
使用されています。



1 LPガスが地震に強い理由

LPガスが災害に強いのはどうして？

□地震がおきたら!!

自分の身を守ることが最優先です！その後に二次災害を防ぐための措置をしましょう。

①まず自分の身を守りましょう



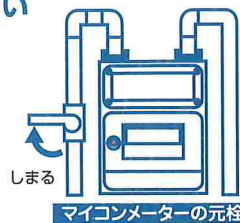
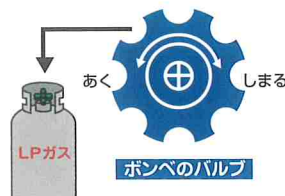
まず、テーブル下に隠れるなどして、身の安全を確保してください。

②元栓を閉めましょう



器具栓・元栓を閉めて、火が消えていることを確認しましょう。

③その後、可能ならLPガスボンベのバルブを閉めてください



□すぐれものマイコンメーターがあなたを守る!!

マイコンメーターは計量器としての機能だけでなく、ガスの使用状況を常に監視し、内蔵のコンピューターが危険を感知するとガスを止めたり警告を表示します。

ガス使用中に震度 5 相当以上の地震を感知すると自動的にガスを遮断します。

(ガス使用中に地震発生の前後 2 分間にガスが流れたとき)



安全
機器

マイコンメーター

マイコンメーターは安全のため以下のような場合にガスを遮断します。

- ガス使用中に震度 5 相当以上の地震が発生したとき。
- ガスの消し忘れなどで必要以上に使用時間が長いとき。
- ガスの配管が破損したときなど、配管内部の圧力が低下したとき。
- 使っていないガス栓を誤開放したり、ガスが不自然に大量に流れたとき。

※微量のガスが30日間流れ続けると警告表示します。

※LPガス販売店のスタッフが検針時やボンベ交換時にメーターの表示をチェックしています。



セキュリティ表示

遮断、警告の理由を液晶表示の点滅で知らせます。

復帰ボタン

遮断弁を開き、ガスが使える状態にするスイッチです。

マイコンメーター図解

復帰方法

知っておくと、とっても便利!!

復帰方法はとっても簡単、みんなも覚えてね。

1



ガス栓・器具栓を全て閉めて復帰ボタンを押して下さい。赤いランプと液晶が点滅します。

2



ガスもれがないか安全確認を行いますので、約1分間お待ちください。

3



異常がなければ、赤いランプの点滅と液晶の文字が消えます。

これで復帰が完了。開栓して使用できます。

※ 復帰ボタンを押してすぐ離す。そして1分間待つ。

復帰しない場合は、LPガス販売店の点検を受けてください。

これなら、ママでも簡単にできそうね♪



2 LPガスが地震に強い理由 個別供給だから強い!!

□LPガスと都市ガスの違いって??

LPガスと都市ガスでは、家庭にお届けする方法が違います。

LPガスは、1戸ごとにボンベなどを設置してお使い頂くエネルギーです。

※バルク貯槽を設置する場合もあります。

●LPガスと都市ガスの供給形態の違い

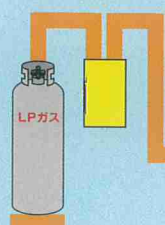


都市ガスはその供給の性質上、災害などで地下の導管が損傷すると被害は広範囲に及び、また復旧までに長い日数を要します。東日本大震災で都市ガスの供給が中断されたとき、市民の生活を支えたのはLPガスでした。

LPガス

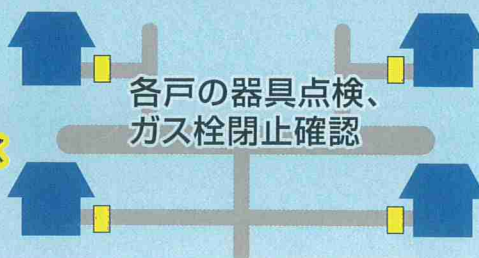
(個別供給)

都市ガス(配管による集団供給)



個別点検

1戸単位で点検できるので安全確認の時間が短く復旧が早い!!



各戸の器具点検、ガス栓閉止確認

- 1戸1戸販売店が個別点検配管が短く点検が容易
- 1戸単位で安全を確認し復旧可能なため、復旧までの時間が短い

- 埋設配管安全確認に時間を要する
- 数百戸、数千戸単位で安全確認が必要なため、復旧に時間を要する

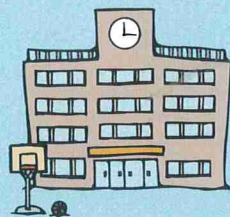


□点検・復旧の早いLPガスは避難所や病院などのエネルギーとして最適です!!

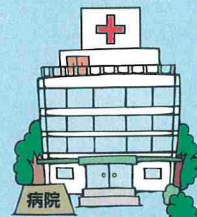
地震災害時に電気・都市ガス等のライフラインがストップしても、LPガスを常時使用していればガス発電機での給電やガス炊飯器、コンロでの食事の準備、給湯器でのシャワーの利用などが可能です。

避難所や病院など地震発生直後からエネルギーを必要とする施設。

例えば

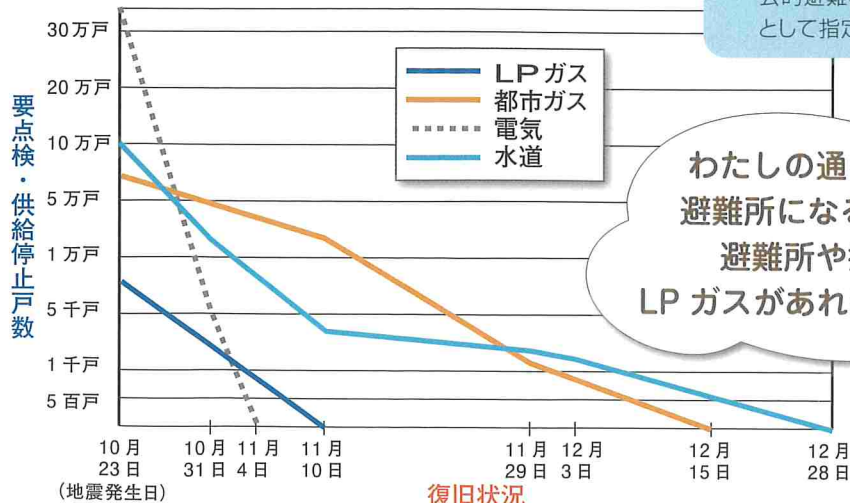


公的避難場所（地方自治体が避難場所として指定している学校・公民館 等）



病院・介護・福祉施設
老人ホーム・幼稚園 等

新潟県中越地震におけるライフライン復旧状況



わたしの通う学校も避難所になるのかな。
避難所や病院にLPガスがあれば安心だね。



□緊急措置・応急供給を可能にする「ネットワーク」

神奈川県エルピーガス協会では、震度5以上の地震が起きた時、協会本部に災害対策本部をそして被災した地域には各支部が現地対策本部を設置します。

現地対策本部は災害対策活動の中心となり、地震発生直後から48時間を目安に、LPガスによる二次災害防止や速やかな供給再開のため緊急措置活動にあたります。また、市町村等からの要請により避難所へLPガスの応急供給を行います。



東日本大震災における(社)神奈川県エルピーガス協会の取組み

被災地へLPガス充てん容器1,000本を届け、その容器は復旧・復興に貢献しています。

宮城・岩手両県へのLPガス充てん容器1,000本の無償提供

協会は、被災者の生活をエネルギー面から支援するため、宮城・岩手両県のエルピーガス協会に、無償でLPガス充てん容器を送ってきましたが、4カ所目にあたる宮城県大崎市内の充てん所への運送が4月23日に終了し、これで送ったLPガス容器は予定していた計1,000本に達しました。

日付	搬入地	本数
4月9日	宮城県仙台市	360本
4月16日	岩手県一関市	150本
	岩手県紫波郡	210本
4月23日	宮城県大崎市	280本
		計1,000本

LPガスの“災害への強みを生かし、仮設住宅でのエネルギー源に”

こうして送られたLPガス容器は、急ピッチで建設が進んでいる仮設住宅等で活用されています。容器にはあらかじめ50kgのLPガスが充てんされており、2本設置すると一般的には3ヶ月半ほど使用できます。LPガス供給は、設備がシンプルなため、すぐに設置して利用出来ることが特徴。また、被災しても復旧が早く、これまでも阪神淡路大震災をはじめ、各地の被災現場で避難所、救援本部、病院などで利用され、復旧・復興に貢献してきています。

協会のこうした素早い取り組みと、容器1,000本という大規模な支援は、LPガス販売事業者の全国組織である(社)エルピーガス協会からも、「全国で初めてであり、業界のモデルケースにしたい」として注目されています。



このたびの震災で被災された皆さまへ

東日本大震災により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された皆さま、ご家族、ならびにご関係者の皆さまに、心からお見舞いを申し上げます。

社団法人 神奈川県エルピーガス協会

<http://www.kanagawalpg.or.jp/>

〒231-0003 横浜市中区北仲通 3-33 共済ビル別館

TEL.045-201-1400 FAX.045-201-9810

info@kanagawalpg.or.jp

どんなことでもLPガスのご相談はこちらへ

お客様相談所

0120-244-566

受付時間

【午前】 8:30 ~ 12:00

【午後】 13:00 ~ 17:30 (土・日・祝日は除く)

LPガス
人と地球にスマイルを